

12. 龍谷大学

テーマ	“学生主体”の支援が生み出す学び 龍谷大学ライティングサポートセンターによる相談対応と学生スタッフに及ぼす効果	
発表代表者	島村 健司:龍谷大学 ライティングサポートセンター ライティングスーパーバイザー	
連名発表者	萩野 翔太:龍谷大学 文学研究科 仏教学専攻 博士後期課程 4年生 神林 声:龍谷大学 文学研究科 日本史学専攻 博士後期課程 4年生 笹原 有貴:龍谷大学 文学研究科 日本語日本文学専攻 博士後期課程 2年生	
キーワード	ライティングセンター	スチューデントジョブ
	アカデミック・ライティング	学生参画
発表の概要	龍谷大学ライティングサポートセンターでは、大学院生のライティングチューターが中心となり、龍谷大学生のレポートや卒業論文など文章作成にかんする相談を受けつけている。相談対応では、答えを教えるのではなく、相談者の考えを尊重し、課題解決の方向性を共に探る姿勢を大切にしている。また、当センターでは、ライティングチューターに対する支援として、定期的な研修のほか、学期ごとにルーブリックを活用してチューターが自己評価を行い、自身のチューターとしての成長度や大学院生としての成長を可視化している。本ポスターセッションでは、学習支援およびスチューデントジョブの2つの観点から、具体的な取り組みとその成果について紹介する。定量的なデータだけでなく、相談者アンケートおよびチューター成長度評価の自由記述の内容を通して、相談者とチューターそれぞれの視点に目を向け、支援のあり方とその効果の一端を複眼的に捉える試みである。	